

2011.3.7 17:00～ (北海道大学原子核理論研究室)

1: 出席者

加藤^a・木村・平林^b・千葉・能登・合川^c・椿原^c・古立^{c,d}・牧永^c・松本^c・吉田^c
(a:委員長, b:議長, c:オブザーバー, d:書記)

2: 報告

- 牧永からの報告
 - 出張について(AASPPの計画のうち、実験研究を行う計画に関して)
 - 場所: 大阪大学と甲南大学 2/21-23
内容: 北大で行う実験について議論する
 - 場所: 韓国(Kimさんのところ) 3/1-3
内容: 北大で行う実験について議論する
 - 未採録論文調査 JPSJ vol.30(1)-39(6)
 - 未採録論文数 28論文(中性子4件、海外1件含む)
 - パーパス(NRDF)入力作業 120件準備済み
 - 現在 Javzanさん(アルバイト)に入力を進めてもらっている
- 古立からの報告
 - E065送信分の修正ファイル作成
 - 特に CP-D685(ヘディングミス修正依頼リスト)に従って EXFOR ファイル修正を行った
- 松本からの報告
 - E061-E064に対応する NRDF ファイルの修正を行った
 - 今後マスターファイルを更新する
- 椿原からの報告
 - E064の最終版送信
 - RIKEN Accelerator Progress Reportへ理研データの採録状況について投
 - E065の送信準備中
 - 北大時報の英語版のHP用にAASPPワークショップの記事の翻訳補助を行った
- 吉田からの報告
 - アジア・アフリカ事業の来年度の計画書作成中
- 加藤からの報告
 - 核データセンター新教授人事が完了し、合川氏(北大OCW)に決定した
 - VBL 研究員人事では松本、牧永の更新決定
来年度の新規VBL研究員として山本、Odsuren が採用されることになった
 - 原研との大学院連携協定
現在: 片倉氏、柴田氏、千葉氏
今後: 片倉氏の退職を受けて、後任の深堀氏に参加を打診したが、
片倉氏の継続願があったので、深堀氏を新たに連携教員として加える申請中

- 核データセンター JCPRG の独立組織化について北大執行部へ説明を行う予定
- 核反応データベースセンターの本部が旧館に移動する可能性あり
- 2月21日 IAEA 核データセクション訪問し大塚氏をはじめ Forrest 氏、Zerkin 氏等と会談
 - JCPRG の活動と EXFOR の在り方を議論
 - 今後の協力体制について議論
- 来年度の招へい研究員として N.Takivayev(カザフスタン)が6,7月に来札予定
- 国際研究会・会合
 - インドの EXFOR meeting のアナウンス(4/4-8) → 加藤は不参加
 - IAEA(NRDC2011): 5/23,24 センター長会議
5/25-27 テクニカルミーティング
3名参加予定
(2名 IAEA から補助→加藤・牧永、1名アジア・アフリカから補助→合川?)
- 中国の核データセンターが EXFOR 形式での核データ採録のワークショップ開催予定
- 吉田さんの雇用延長が難しく、形式的には核データセンターから退く予定
 - 実態として来年度は短期支援員として週2回程度の勤務の見込み

3: 議題

- インドの EXFOR meeting(4/4-8)への派遣人員について
 - ノミネートされているのは加藤・能登・牧永・椿原

次回開催予定日時 2011年4月18日18時～

次回開催予定場所 北海道大学原子核理論研究室